#トラック

User Report ユーザーレポート

夜勤・早朝の点呼負担を軽減

自動点呼で実現する健康管理と安全運行



長良通運 株式会社

三重県桑名市に本社を置く運送会社。一般貨物自動車運送や倉庫業務をはじめ、自動車部品・建設資材等の輸送、車両整備、人材派遣など幅広く総合物流サービスを展開する企業です。

ご利用機器



e点呼セルフ



ALC-PRO II



e点呼PRO

BEFORE 導入前の課題

- 夜勤・深夜帯の点呼負担
- 健康状態の確認・記録
- 自動点呼の実用性への不安

AFTER 導入後の効果

- 夜勤・朝方勤務の負担を軽減
- 健康データを数値で一元管理
- 点呼記録の見える化を実現

Interview インタビュー

ユーザーのリアルな声をお届けします！



長良通運株式会社 代表取締役社長　水谷様

東海電子公式キャラクター T.D（ティディー）



東海電子公式キャラクター T.D（ティディー）

自動点呼を導入したきっかけは何ですか？



長良通運株式会社 代表取締役社長 水谷様

自動点呼の導入を検討した背景には、2 交代勤務に伴う夜勤や深夜帯の点呼負担がありました。
点呼者・運行管理者双方の負担を軽減できる方法を探す中で、ロボット点呼を知り、導入を検討しました。当初は「本当に現場で使えるのか」という不安もありましたが、夜勤対応の負担軽減や健康情報のデータ管理などを考慮し、導入を決めました。

**導入前はどのような課題がありましたか？
また、導入後はどのように業務が変わりましたか？**

導入前は、夜勤や深夜・早朝の点呼対応が大きな負担となっていました。また、対面点呼では健康状態の確認に見落としが生じる可能性もありました。
導入後は夜勤・朝方勤務の負担がなくなり、血圧や体温などの健康情報も数値として記録・管理できるようになりました。点呼記録も見える化され、日々の管理や振り返りがしやすくなりました。

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。



操作性はいかがですか？

自動点呼そのものは、慣れてしまえば簡単に操作できます。一方、導入当初は点呼計画の作成に苦労し、サービス担当者と何度もやり取りしながら、簡単に組める方法を構築していきました。また、高齢者や機器に慣れていない社員は、ボタンを押した後の読み上げや待機時間に戸惑うこともありました。
計画作成から現場運用まで、スムーズに回るようになるには半年～ 1 年程度かかりました。

会社独自の活動は行っていますか？

安全・健康・働きやすさを重視した取り組みを進めています。年 2 回の輸送部全員による勉強会に加え、4 班体制でのミーティング、事故事例の復習、法定 12 項目教育、理解度テストを毎月実施しています。
また、フォークリフト作業などの動画マニュアル化も進めており、QR コードから必要な手順を確認できる仕組みを計画しています。外国人材にも分かりやすく伝えられる教育環境を目指しています。

今後の展望を教えてください

外国人材を含めた多様な社員が安心して働ける環境づくりを進めていきます。
コミュニケーションや関係性構築を重視した教育に加え、目標管理などにも取り組む予定です。また、自動点呼で蓄積される健康データも活用し、社員の健康意識向上や安全運行につなげていきたいと考えています。



東海電子への要望はありますか？

血圧や体調などのデータを健康管理に活用できる機能を期待しています。体重管理やダイエット、スマートウォッチとの連携、健康異常時のアラートなどもあると便利です。また正確に今日の天気や道路の通行止め情報などをモニターで確認できれば、対面点呼に近い付加価値になると思います。複数台導入時の割引などもあると、より導入しやすくなると感じます。

取材ご協力



長良通運 株式会社

代表取締役社長　水谷様
営業部部長　水谷様　　管理本部品質課　今野様

住所：〒511-0806 三重県桑名市東汰上 1016-1
URL：https://nagara-trans.co.jp/

その他の導入事例はこちらから
ご覧いただけます！

その他の導入事例を見る

※文章、写真の無断転載や抜粋、加工は固くお断りいたします。